



認定NPO法人

NEXTEP

ちよこからファーム

2022 年度

農福連携に係る機器整備（就労継続支援 A 型）

事業完了報告書

 日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

～ビニールハウスの設置と苗植え体験会～ コーヒー栽培プロジェクト始動！



完成したコーヒーハウス 内の様子 2023.3.26

●コーヒー栽培への挑戦

今回ビニールハウスを購入設置し栽培する作物は『コーヒー』に決定した。理由としては国産のコーヒーはまだまだ取り組んでいる農家が少ないことで取り組み自体に希少価値があること。また先駆けて熊本県の南阿蘇でコーヒー栽培を実施している後藤氏と出会い、趣旨に賛同してもらい、指導や苗の購入など、通常は行っていないコーヒー栽培への全面的な協力を得られたことにある。

●実施内容

2022年度は、ビニールハウスを設置し、コーヒーの苗植えを実施した(最終植え付け本数は60本を目指す)。2～3年後の収穫を目指し、収穫が出来るようになれば、年間オーナー制を実施。最終的に年間オーナー費(3万円を予定)×60本=180万円/年で運営し収益の安定と、利用者の仕事の安定を目指す事業としていく。



研修の様子。後藤コーヒーファームにて

●コーヒー栽培プロジェクトのコンセプト

スタッフのみんなで話し合い、『コーヒーによって繋がる』ことをコンセプトに事業を実施していくこととした。

珍しい国産コーヒーというものを通じて、利用者が社会や地域と繋がること。参加型の事業としてのコーヒーの年間オーナー制度もコーヒーを通じ参加者、利用者、当法人とが繋がることを目指す。コーヒー人と人とのつながりが、就労支援の利用スタッフにとっての、参加者にとってのウェルビーイングに繋がっていくイメージだ。



コーヒー苗植え体験会(全体説明)

●栽培指導「南阿蘇コーヒーファーム 後藤氏」

月一回のコーヒー栽培に関する指導(座学や実地研修)の他にビニールハウス設置予定の圃場にも来てもらい、ビニールハウスの仕様に関してもアドバイスもらった。ビニールハウス業者とも打ち合わせを重ね2023/2/17にビニールハウス完成、引き渡しとなった。



コーヒー苗植え体験会(苗植え)

●コーヒー苗植え体験イベントの実施

苗の植え付けに関してはFacebookや法人ホームページなどで告知し3/26に実施。定員20組に対し17組、39名の応募があった。県内外、遠くは滋賀県からも応募があり、趣旨に賛同した外部の方々が多数参加。ほとんどの参加者が今回初めてネクステップと繋がりを持った方だった。



コーヒー苗植え体験会(集合写真)

●プレオーナー制のスタート

今回苗植えに参加してもらった方はプレオーナーという形で、5000円の参加費をもらい初収穫までの間のオーナーとして関わってもらおうようにした。これからもオーナー向けイベントや苗の成長をプレオーナーに報告し、本オーナー開始時にもオーナーになってもらえるように関わり続けていきたい。

農作業の技術向上と実践

～外部講師指導を受けて～

本年は農業チーム「ちょこからファーム」のさらなるレベルアップを目指し、また、

- 作業の安定や効率化
- 学びの機会を増やす
- 収量の安定

を目的に外部講師を入れての農業を実践した。

内容は以下の通り。

●既存圃場の収量増加のための指導 ... アスパラガス圃場の土壌分析による施肥設計や、その他ブルーベリー圃場への施肥などを行った。(外部講師②③)

●既存圃場の整備や作業の見直し ... 露地栽培圃場の整備(耕起作業やマルチ張り)など、外部講師により専用の機械などで行い、効率のよい作業を行った。またブルーベリー圃場の防鳥ネットの補修やその他資材の補修点検などの指導をもらった。(外部講師①②)

●座学 ... 土づくりや栽培の基本知識など、利用者も含め座学の時間を取ることができた。今まで、現場で試行錯誤を繰り返していたことが、座学をすることで知識が増え、作業としてやっていることの意味を職員、利用者ともに学ぶことができた。(外部講師①)

また3月に植え付け2023年度より栽培管理をスタートさせるコーヒー栽培の実地研修を毎月南阿蘇で行った。(外部講師①②③④)



外部講師

①「みやした農園」宮下博行氏 (熊本県山鹿市)

平成10年就農、施設園芸、水稻、露地野菜を栽培。平成15年に無農薬栽培に切り替える。現在は水稻、玉ねぎ、長ねぎを栽培。

②「有限会社南花園」本田洋志氏 (熊本県上益城郡)

造園・園芸。ブルーベリー栽培等果樹栽培。また、熊本県水俣市で就労支援事業を実施し、福祉的就労への理解も深い。

③「株式会社果実堂テクノロジー」 (熊本県上益城郡)

農業コンサルティング、新規農業参入企業の支援を実施。関連会社において大規模にベビーリーフを栽培。科学的な圃場管理など技術がある。

④「後藤コーヒーファーム」後藤至成氏 (熊本県阿蘇郡)

2012年より南阿蘇でコーヒーのハウス栽培を開始、2015年に初収穫、2020年4月～コーヒーの木のオーナー制を開始。



宮下氏



後藤氏